

令和7年度 危機的な状況にある

言語・方言サミット 八重山大会

令和7年

10月25日(土) 10:00~17:45

26日(日) 10:00~16:30

会場:石垣市民会館大ホール
(沖縄県石垣市浜崎町1-1-2)

ムバシキルカ シマバシキル
(言葉を忘れたら 故郷を忘れる)
忘れていませんか? あなたの故郷の言葉

アイヌ
語

八丈
方言

奄美
方言

国頭
方言

沖縄
方言

宮古
方言

八重山
方言

与那国
方言

被災地
方言

どなたでも参加できます 参加費無料 申込不要

主催・共催

文化庁・沖縄県・石垣市・石垣市教育委員会・竹富町・竹富町教育委員会
大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所・国立大学法人琉球大学

趣旨

日本には消滅の危機にある言語・方言がいくつもあります。アイヌ語、八丈方言、奄美方言、国頭方言、沖縄方言、宮古方言、八重山方言、与那国方言、そして東日本大震災の被災地方言などです。「危機的な状況にある言語・方言サミット」は、これらの言語・方言の状況や地域の取組事例の紹介、聞き比べや講演などを通して、文化の多様性を支える言葉の役割や価値について共に考え、危機的な状況を改善するきっかけとしようとするものです。

《10月25日 土》 10:00～17:45

10:00 オープニングアトラクション

10:30 開会式

10:45 基調講演

セリック・ケナン氏

(国立国語研究所)

「八重山語の現状とその行方について
：歴史的な視点を踏まえて考える」

12:00 休憩

13:00 危機言語・方言の聞き比べ

アイヌ・八戸・八丈島・新島
奄美大島・喜界島・沖永良部島
与論島・国頭・沖縄・宮古島
多良間諸島・石垣市・竹富町
与那国島

14:30 危機言語・方言による表現披露1

スマムニ広め隊

竹富町西表島 祖納公民館

15:40 ブースアピール・ブース発表

(パフォーマンスあり)

17:45 終了(予定)

《10月26日 日》 10:00～16:30

10:00 開会

10:05 危機方言の現況報告

石原昌英氏 (琉球大学)

10:35 八重山地方における取組報告

11:05 アイヌ語の現況報告

深澤美香氏 (国立アイヌ民族博物館)

11:35 危機言語・方言による表現披露2

南部方言 (八戸)：昔コ語り

アイヌ語 (樺太方言)：スピーチ

舞踊・歌謡

12:40 休憩

13:40 すまむに (方言) を話す大会

15:50 閉会式

16:30 終了(予定)

石垣市大浜方言調査の様子
撮影：麻生玲子氏
紹介



- ・2018年～現在、国立国語研究所
- ・2014年～2016年の間宮古に滞在し、宮古語を学習
- ・2019年よりアクセントと語彙収集を中心に八重山語諸方言の研究に従事

基調講演講師
セリック・ケナン氏
(国立国語研究所)

(問合せ先)